

講義名	教育実習【教職科目】			授業形態	
担当教員	池田 曜子 / 田邊 良祐 / 西尾 範博	開講期・曜日・時限	前期 水曜日 2時限		
		単位数	3	履修開始年次	4年生

主題と概要

この授業は、教育実習事前指導、教育実習指導、教育実習事後指導から構成されます。
 教育実習は、教育職員免許状を取得するための必修の実習科目であり、教育職員免許法施行規則第6条に基づき行われるものです。教職課程履修者の中で、3年生終了時点でに所定の単位を修得した人は、4年次に実際の学校現場において、教職課程の学びの成果を実践的に発揮し学ぶこととなります。
 教育実習を通して学ぶことは、教科の学習指導と学級や学校全体の運営についてです。大学で学んだ知識や理解、理論、技術について再度考え直し、「教員としての自分」が納得できる学習指導案の作成と実践ができるようにしなければなりません。さらに、学級や学校全体の運営においては、教員の職務は教科の学習指導だけでなく、教科外の学習活動の指導も重要な職務であること理解してください。教育実習生は、教育実習中に、指導教員の受け持つ学校のホームルーム活動や学校行事において、活動の様子をみたり、実際に指導を行ったりすることになります。そのため、指導教員の学級運営の目標や学期ごと、年間の計画や、学年や学校全体の教育活動との関連を知り、指導教員が実際にどのようにそれを展開し、実現しようとしているか理解することに努めてください。

到達目標

教育実習生としてふさわしい力量と人格形成
 1. 教員としての使命感や責任感、教育的愛情が育成できるようになる。
 2. 社会性や対人関係能力が育成できるようになる。
 3. 生徒理解や学級経営に関する力量が育成できるようになる。
 4. 教科内容に関する力量が育成できるようになる。

提出課題

レポート、指導案、模擬授業、実習後の報告会のためのパワーポイント作成

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

模擬授業後コメントと改善点を指導します。

評価の基準

レポート、模擬授業、報告会での発表(20%)、実習校での評価(80%)を総合的に判断します。

履修にあたっての注意・助言他

欠席・遅刻をせずに、必ず全ての授業を出席するようにしてください。

教科書

ベストを尽くす教育実習	岡井美紀他	有斐閣	2000	9784641174320
-------------	-------	-----	------	---------------

参考図書

その他

適宜配布する。

授業計画

1. 教育実習の意義と課題
2. 最近の生徒の理解と指導
3. 学校の教育課程編成の工夫
4. 授業観察の視点
5. 授業づくりの方法
6. 指導案に基づく模擬授業
7. 教科外指導の観察・参加、実習ノートの使い方
8. 事後学習と研究レポート、模擬授業
9. 学校の運営、教職員
10. 教職実践演習について、模擬授業
11. 教育実習(2週間)
12. 事後指導 実習の反省・まとめ
13. 事後指導 まとめに基づくパワーポイントづくり
14. 事後指導 パワーポイント作成仕上げ
15. 事後指導 教育実習報告会(2コマ)

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	<input type="radio"/>	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/>	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	<input type="radio"/>	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		

準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

事前の指導に備えて、学習指導案の作成、模擬授業ができる様によく準備すること。
 実習後は、実習校で学んだ事柄をまとめ、報告会で発表すること。
 毎回の授業で、資料作成(学習指導案・プレゼンテーション資料等)に4時間程度の準備と学習が必要とされる。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

商学部マーケティング学科では、企業環境をマーケティングの視点で捉え、現状を改善する努力を継続することができる学生を育てます。
 本授業でも、自ら考え、自ら判断し、主体的に行動することが求められます。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

双方向授業は実施しない。

実務経験の有無及び活用

備考

「教育実習」は、3年生後期から開始し、4年生夏休みまでの授業です。
 教育実習中の訪問指導も含まれます。